

令和6年度 第1回恵那市社会教育委員会議事録

開催日時：令和6年5月31日（金）

午後1時30分～3時40分

開催場所：恵那市役所西庁舎 災害対策室A・B

会議次第

1. 委嘱書交付
2. 教育長あいさつ
3. 社会教育委員長あいさつ
4. 委員・事務局紹介
5. 社会教育委員の役割について
6. 議題
 - (1) 令和5年度第6回社会教育委員会会議録の承認について
 - (2) 令和6年度社会教育委員会の活動内容（年間計画）について
 - (3) 令和5年度家庭教育支援計画事業の成果と課題について
 焦点化事業の進捗管理について
7. その他
 - ・恵那市少年の主張大会のご案内
8. 閉会

次回日程

日時：令和6年7月24日（水）午後1時30分～

場所：恵那市役所西庁舎3階 災害対策室A・B

・出席者の数：社会教育委員14人中14人、事務局4人（以下のとおり）

	役職	氏名	選出団体等	出欠
1	委員長	林 達夫	三学のまち推進委員会委員	出席
2	副委員長	山田 恵市	文化振興会	出席
3	委員	高草 環	図書館サポーターえな	出席
4	委員	山内 正一	学識経験者	出席

5	委員	相原 正文	恵那市青少年育成市民会議	出席
6	委員	森川 伸江	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
7	委員	柘植 俊夫	民生委員児童委員協議会	出席
8	委員	小林 英文	壮健クラブ連合会	出席
9	委員	後藤 光男	NPOまちづくり団体	出席
10	委員	田口 容子	放課後子ども教室コーディネーター	出席
11	委員	各務 周和子	保育士・幼稚園教諭経験者	出席
12	委員	山口 清季	恵那ライオンズクラブ	出席
13	委員	阪上 美代子	恵那市スポーツ推進委員連絡協議会	出席
14	委員	藤井 志保	校長会代表（中野方小学校長）	出席

事務局

1	教育長	岡田 庄二	恵那市教育委員会	出席
2	課長	柄澤 史枝	社会教育課	出席
3	主幹	遠山 直美	社会教育課	出席
4	課長補佐兼係長	伊東 将昭	〃 三学運動推進係	出席
5	主査	今井 ちえこ	〃 三学運動推進係	欠席
6	社会教育指導員	丸山 眞理子	〃 三学運動推進係	欠席
7	社会教育指導員	太田 礼子	〃 三学運動推進係	欠席

開会

（事務局）皆さま、こんにちは。

本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。

それでは、これより令和6年度第1回恵那市社会教育委員会を開催させていただきます。私は、社会教育課の伊東と申します。当委員会の事務局を務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

それでは、最初に資料の確認をさせていただきます。まず会議資料としまして会議次第が表紙のホッチキス止め資料、提言書「三学塾塾長の役割と共通活動について」、第5期家庭教育支援計画の事業サイクルシート、令和5年度家庭教育支援計画の事業一覧になります。次期総合計画策定について、社教連会報、子育てフードパントリーの資料、黄色い冊子「令和5年度恵那市小中学校運営協議会の成果と課題」、新任の委員様には第5期恵那市家庭教育支援計画の冊子をお配りしています。

それでは次第に沿って進行させていただきます。

1. 委嘱状交付

（課長）それでは、委嘱書を交付させていただきます。昨年度末をもって2名の委員が任期満了を迎えられ、1名の委員が交代となりました。各種団体からの推薦や事務局からの依頼によって、令和6年度から新たにお務めいただく委員が選任されましたので、委

嘱書を交付させていただきます。資料の3ページをご覧ください。任期の欄が令和6年4月1日からとなっている委員が今回の委嘱の対象となります。新任の方2名、前任期から再任の方1名となっております。

恵那市社会教育委員条例により、教育委員会が委嘱するとなっておりますので、岡田教育長より交付させていただきます。お名前をお呼びしますので、その場でご起立ください。【教育長から手渡す】

2. 教育長あいさつ

(事務局) それでは、岡田教育長よりあいさつ申し上げます。

(教育長) 皆さまこんにち。令和6年度から新しいメンバーも加えて14名の方に社会教育委員を務めていただけたということで、ありがとうございます。昨年度1月に地域学校協働活動の答申をいただいて、既にいろいろな委員会でこの答申書を使って具体的にお話をさせていただいています。いいものを作っていたと思います。今年度も重点的にいろんなことに取り組んでいただけたらと思います。

先日、市P連の委員会で一つお話をさせていただいたことがあります。それは新しい言葉でデジタルシチズンシップ教育というものがあります。今までは情報モラル教育と言っていました。情報モラル教育と言うと、一般的には、「あれはダメです、これはダメです、危険だから気をつけなさい」というようなデジタルの負の面を強調していましたが、今は「こんなにいいことがあるから、うまく使う力をつけましょう」という時代になりました。例えば、「タブレットを家に持って帰って使おうね」ということに、「いや、うちに持ってきたらゲームやったり、どこかに繋がってよくないからやめてくれ」ということもありました。今は「どんなふうに使ったらいいのか」という時代になりました。そんな時に、ご家庭の力が大きいと思うんです。そういうことを考えますと、これから話題になるかと思いますが、家庭教育というのは、少しでも充実させる方向にもっていかないといけないのですが、学校だけではなかなか難しいところがありますので、いいアイデア等出していただけたらと思います。

4月から組織再編となりまして、生涯学習課を社会教育課と文化課に分けました。仕事を明確にして分けさせていただきました。学校教育、社会教育一体となって生涯教育ということで問題はなかったのですが、社会教育に特化していきたいと再編させていただきました。では、1年間お世話になります。よろしくお願いします。

3. 社会教育委員長あいさつ

(事務局) 続きまして、社会教育委員長からごあいさついただきます。

(委員長) 暑かったり寒かったり、雨だったりよく晴れたり、夕方から急に寒くなったりするので、健康には細心の注意を払って、体調を崩して孫や子どもたちに迷惑をかけないようにしていきたいと思っています。

昨年度につきましては、教育長から諮問を受けまして、以前から研究して進めていた恵那市の地域学校協働活動を取りまとめることができました。その付録として、Q&Aもできましたし、皆様のご意見をまとめて印刷することもできました。自分たちも一生

懸命取り組むことによってたくさん学べたなと実感しています。一つの事業をやるということは、自分たちも学ぶことができありがたいことです。そうでないと、社会教育委員会の会議があるので毎回来ているだけ。それでは意味がなく、何か目的をもって取り組んでいくことが自分たちを高め、地域に貢献することになると感じました。今年度は違うテーマで取り組むことになりますが、自分たちも学んでいきたいと思います。

家庭教育について、特にタブレットはうちの孫も持って帰ってきます。小学6年生の孫は淡々とやっています。小学2年生の孫は私よりよく知っていて、ゲームのようなものをやっていますので、よく見ていかないとと思っています。現在3世代のところは祖父母が見ていることもありいいのですが、かぎっ子の家庭もかなりありますので、そのへんはどうしたらいいか、これからの課題かと思っています。

それから地域学校協働活動は、答申書で完成ではなく、実践を通して自分たちの地域が使いやすいように改善し、目的が達成できるように意見を交わしながら、Q&Aも増やしていく、より良いものを作っていくんだという思いで、取り組んでいきたいと思っています。

今年1年間新しいテーマに向けて皆さまとともに学んでいきたいと思っています。よろしくをお願いいたします。

4. 委員・事務局紹介

(事務局) ありがとうございます。今年度第1回の会となりますので、委員の皆さまから自己紹介ということで一言いただきたいと思っています。山田副委員長からよろしくお願いします。

(副委員長) 文化振興会から参加させていただき、8年になりました。よろしくお願いします。

(高草委員) 図書館サポーターえなの会長をしております。よろしくお願いします。

(山内委員) 長年学校教育に携わってきた経験から学識経験者として6年になりましたが、まだ学ぶことがいっぱいです。よろしくお願いします。

(相原委員) 恵那市青少年育成市民会議より参加しています。4年目です。よろしくお願いします。

(森川委員) 家庭教育と言われましたが、ここが柱になっていると思いますが、奥が深く、難易度は高い、けれど、生まれる前から育っていく道筋は大切で、勉強ができたらと思います。よろしくお願いします。

(柘植委員) 民生委員代表として来ております。恵那市の民生委員の会長は下りましたが、引き続き参加させていただいております。よろしくお願いします。

(小林委員) 壮健クラブ代表の任期は1期2年でございますが、引き続き会長となりましたのでよろしくお願いします。前も武並の権現山のことを話しましたが、歴史が間違った方向へ進むのではないかと思い、壮健クラブにはじいちゃんばあちゃんの知恵袋がたくさんあります。「げなげな話特集」を作って、「河合でこんなことあったげな」「ここでこんなことあったげな」という風に1冊の本にして地域の皆さんに伝承したいと思っています。その時は知恵を貸してください。

(後藤委員) NPO まちづくり山岡の推薦で、地域学校協働活動推進員も務めています。地域の社会教育のことを学んで地域で活かせたらと思います。新任です。よろしくご指導ください。

(田口委員) 大井小学校、大井第二小学校の放課後子ども教室のコーディネーターをしております。よろしくお願いいたします。

(各務委員) 8年目です。また勉強させてください。

(山口委員) 恵那ライオンズクラブの山口です。子どもたちの絵手紙や薬物乱用防止の表彰などでお世話になっております。

(阪上委員) 恵那市スポーツ推進員連絡協議会代表として参加しています。社会教育には、今まで関わっていなかったもので、難しい内容でしたが、やらなくてはいけないと少しずつ分かってきました。よろしくお願いいたします。

(藤井委員) 校長会の代表として参りました。今年度より恵那市で新任校長としてお世話になっています。瑞浪市の社会教育委員会も、昨年度答申書を作成しました。恵那市を参考にさせていただいておりました。ここで学ばせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(課長) 社会教育課長の柄澤です。引き続きよろしくお願いいたします。

(主幹) 社会教育課主幹の遠山です。3月まで恵那北中学校の教頭を務めておりました。先日の地域学校協働活動推進員協議会では、林委員長に講師になっていただき、答申やQ&Aについて推進員の皆さまにご説明をいただきました。推進員協議会で各地域が答申を受けて、実態としてどうであるかということを踏まえ、本年度かけて修正をしたいと林委員長より話がありましたが、そこを動かす事務局としてやっていきます。よろしくお願いいたします。

(課長補佐) 改めまして、社会教育課課長補佐兼係長の伊東です。生涯学習課から3年目です。引き続き、多くを学ばせていただきながら、事務局としての務めを果たしていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。他に事務局ということで社会教育課の職員をご紹介します【資料P3に沿って説明】。教育長ですが、他の公務のためここで退席させていただきます【教育長退室】。

5. 社会教育委員の役割について

(事務局) 次に、新任の委員もおみえになりますので、社会教育委員について、事務局より説明させていただきます。【資料P4、5に沿って説明】ご質問などがありますでしょうか。簡単ではありますが、以上で説明を終わらせていただきます。

6. 議題

(事務局) 議題の進行は、林委員長お願いいたします。

(委員長) 私たち社会教育委員会は、市の社会教育全体を方向づけることが大きな使命ということです。地域の社会教育については三学委員会がありますので、コミュニティセンターを中心にして各地域の三学委員会で地域の社会教育に携わるものとして、恵那市は分けてありますので、わかりやすく進めやすいと思っております。三学

のまちというのができてから、明確になっているなと思います。県や東海北陸の会に出ていきますと、社会教育委員は町（地域）に1人しかいないなど、何をやっていいのかわからないと話される方がかなりおられます。東濃は、各市メンバーが決まっています。年間5, 6回会議があるので、ひとつのことに向かって進んでいるのでいいなと思いますが、他所はそうでないと、代表になってわかりました。私も1年目はよくわかりませんでしたが、経験を通して学んできました。新しくメンバーになられた方は、1年たつとある程度分かってきて、2年3年たつと理解できるのではないかと思います。

以前、三学塾塾長の仕事を明確にしてほしいと教育委員会から諮問があり、答申としてまとめました。かなり明確になりましたが、地域にもやりやすいよう融通を利かせていきたいと思います。恵那市の社会教育委員会が作る答申は、地域でやりやすいように少しずつやっていくという趣旨です。よろしくお願いいたします。

（1）令和5年度第6回社会教育委員会会議録の承認について

（委員長）昨年度最後の会の会議録です。去年からの委員さんで読まれて修正箇所がありましたら終了後事務局へお願いします。

（2）令和6年度社会教育委員会の活動内容（年間計画）について

（委員長）事務局から説明をお願いします。

（事務局）【会議資料P 6～7に沿って説明】前回いただいたご意見を踏まえまして、社会教育課の重点目標や課題なども踏まえ、柱1～3にまとめました。年間スケジュールはP7のとおりです。事務局からの提案とさせていただきますので、ご意見いただけたらと存じます。よろしくお願いします。

（委員長）幅広いテーマの中から3つの柱にまとめたということです。第6期家庭教育支援計画の策定は、令和7年度に行うということによろしいですか。今年度はその前段階ということですね。

（事務局）はい。

（委員長）とにかく意見をたくさんもらって、私も含めて孫育ての立場、母親・父親の立場、子どもの立場から、家庭教育について日頃思っていることが出てくるといいと思います。1つ目は家庭教育。2つ目は地域学校協働活動。答申して終わりということではなく、さらに改善発展して使い勝手が悪ければ直していくということで、ふりかえてみる。3つ目は三学塾塾長の役割と業務。地域によって仕事量が違いそうなので、調査したいと思います。柱1, 2, 3について、ご意見いただけますか。

（委員）放課後子ども教室は、多くの地域にあるので、皆さんに見えていただけるいいなと思います。ただ、子どもの居場所は子ども教室だけでなく、学童に行っている子がいたり、家に帰る子もいるので、どんな過ごし方をしているか少し見てもらえるといいと思います。

（委員長）私たちは実態がわからないので、見えないところをどう見ていくかが大事かと思います。

（委員）図書館のお話会には、小さな子連れの親さんが来てくれます。

（委員長）地域でもできるといいですね。

（委員）小学生の放課後について、学童に入れない子もいるようです。地域での読み聞かせは喜んでもらっています。

（委員）教育長さんも言われたように、学校から家に帰ってきてどうするか、ということですね。うちは、帰ってきて宿題をやってからゲームをさせるようにしています。また、前も話した権現山の件、保育園で子どもに伝えている話、「悪いことをすると権現山から鬼が来るぞ」と子どもに伝わっていくと、歴史がおかしくなってしまうと考えました。権現山は瑞浪の大湫にありまして、調べてみると、権現山には鬼はおりません。戦国時代に戦いに敗れた地で、今は神社が祀られています。上まで行けないので麓に祀ってあります。鬼を何かに例えて、子どもの教育に活かすのはいいのかもしれないですが歴史としては正しく教えていきたいと思い、さっきも言いましたが壮健クラブの人に「げなげな話」としてまとめたいと案を持っています。恵那市の壮健クラブも6,000人を割ってしまいました。解散していくクラブもあり、全国的にも会員が減っています。

（委員長）本ができましたら、恵那市の副読本になるといいですね。笠置も猪狩山を調べなおして研究しています。

（委員）中野方はカルタを作ったので、その時に話された云われをまとめて冊子にしています。

（委員）教育委員会にお願いに行くかもしれませんが、よろしくお願いします。

（委員長）地域の子どもたちの実態を調査し、知るところから始めたいと思います。理解しないと解決策も出てきません。そこらへんが出口かと思います。2つ目の地域学校協働活動の答申書の活用についてですが、もう始まっていますか。

（委員）1回目おわりまして、学校運営協議会で総合学習の時間に、まち探検の時間に地域の人に応援いただいて、地域の言い伝えを詳しく説明してほしいと依頼を受けて、構成をしています。地域学校協働本部の推進員としては、次につなげる役目としてやっています。あと、地域の見守りですが、民生委員・主任児童委員と学校訪問して、地域でできることは地域でやっていくなど、つなぎ役をやっています。

（委員長）推進員さんは、地域と学校のつなぎ役ですので、うまくいかなければ改善していけるように。地域でやりやすいようにしてください。

（委員）子育て支援課など、いろんな組織に紹介していただきながら活動することが多いです。

（委員長）地域の人たちと一緒に活動し、山岡町が願う子どもの姿に繋がっていけばいいと思います。

（委員）こちらも見守りや地域の説明など壮健クラブの方にはご協力いただいています。

（委員）まだまだ地域で知らない活動が多いです。壮健クラブの話もよく聞きますが、整理しきれていません。地域学校協働活動は停滞しています。大井第二小校区は「応援団」として動き始めています。東中は11月30日の話題提供で動きがあります。推進員さんがそれぞれおりますので。

（委員長）何が問題で何が良かったか整理ができるといいと思います。

(委員) 柱2について、子どもたちが祭りに参加したり、移住者に声をかけたり、文化の継承など、絶やさないように地域で動いてはいます。子どもたちもゲームに夢中で運動もしませんし、部活動もやっていないので、放課後の総合型地域スポーツクラブにどうやって参加して、安全管理していくか難しいところです。

(委員長) やってみて実態を見ていきたいですね。会社の方々の地域のことも聞いてもらえたらいいかと思います。

(委員) 大人になってから体力低下、協調性も欠けていってしまうことが心配です。

(委員長) 社員の皆さんにも伝えていただくことで、家庭教育にもつながると思います。

(委員) 私たち大人がまず自分を正さないといけないと思っています。そんなことを会社でも話しています。

(委員長) 地域学校協働活動のことも会社で話してください。知らない人も多いと思います。話題に出てれば明確になっていくと思います。柱3の三学塾塾長の役割と業務の実態調査について伺います。

(委員) 地域の三学塾の監査を引き受けていますが、予算が少ないように感じます。中野方はしっかりやっていますので、このままでいいのではないかと思います。この会に出て塾長のことが分かったように思います。塾長の業務にも格差があると言われましたが、その差を知りたいと思いました。具体的な内容の見える化。中野方の広報も一生懸命やっています。土日に行事もあります、負担になっていないかなと思います。

(委員長) 自分の地域はわかっても、他所のコミュニティセンターとの差が分かりませんね。笠置の塾長も一生懸命頑張っているらしいです。地域によっては、仕事量が多く大変だという話も聞きます。何が違うのか、知るところから始めたいと思います。

(委員) ふりかえってみますと、恵那市社会教育委員会では、当初は家庭教育や子育て児童期の暮らしとか、皆さんがご意見をたくさん言ってくれるということで進めてきましたが、いい話は出るが何をやってきたかはっきりしませんでした。そこで、三学塾長の役割にテーマを絞って、ひとつ、恵那市のスタンスを立てました。次に地域学校協働活動についても行いました。

柱1は調査研究をして次年度に活かしていきたい。柱2と柱3は活用状況などの実態把握をして見届けていきたい。そういうことが今年の動きかなと感じました。

(委員長) 柱3つと年間計画については、承認されたということです。検証しながら実態を調べていき、3月までに来年の方向性が出てくるといいかなと思います。

(3) 令和5年度家庭教育支援計画事業の成果と課題について

焦点化事業の進捗管理について

(委員長) 事務局お願いします。

(事務局) 前年度の実績と課題を関係各課が入力しました。A3の資料については、後ほどご覧いただきたいと思います。全部で39事業ありますが、重要性や課題が大きい

ものがあり、11 の事業に絞り込んでいただいています。それをA4資料にまとめました。

焦点化事業の評価について、次回に時間を設けて各委員からご意見をいただきます。次回会議までに内容をご確認いただき、ご意見をお持ち寄りくださるようお願いいたします。

【資料説明】

(委員長) 焦点化事業の進捗管理の出口はどこですか？

(事務局) 令和5年度の実績、課題が出てきたところですので、「もっとこうしたらどうか」「こういった角度から取り組むといいのではないか」など、それぞれのお立場からご意見をいただきたいです。

(委員) 17, 8年前も重点事業について各課でシートを作り、各課で評価していました。今回は、各課が作ったものですか？ どのようなものですか？

(事務局) まず、各課に令和5年度の成果から令和6年度どう取り組むかを作成してもらいました。それらをこちらで作った表に移し替えました。

(委員) 恵那市のアミックスはどういう役割でしょうか。市の予算も入っていますね。視聴率はわかりませんが、料理や行事、議会が流れています。アミックスを使って、子どもが見たり親が見たりするよう、連携してもらえたらいいかと思いました。

(委員長) アミックスとの窓口はどこですか。

(事務局) PR関係は総務課の広報が担当です。

(委員長) アミックスの番組表があるということです。

(委員) Dボタンで番組表は出ますが、再放送が多いです。

(委員長) そういう意見があったと広報に伝えてもらえるといいかと思います。

(委員) 焦点化することが大事だと思いますし、よくわかりました。子育て支援課の部分も大きいと思います。たまご学級などもあるので。図書館はたくさんの人が参加してくれるということで、権現山などの伝承は読み聞かせ等にいいように思います。乳幼児学級は、少人数であれば深い話ができるけれど、いい話はたくさんの人に聞いてもらいたいので、図書館のようにいつ行ってもいい、時間があるから行こうか、いうようにフラッと行けるようなところと家庭教育がコラボできたらいいかと思います。親が行事に合わせるのではなく、読み聞かせに来た親子の様子を見ながら、にこやかに聞いているのか、怒りながら聞いているのか、親自身にゆとりがないとトゲトゲした言葉が出てしまいますので、そういうところも図書館スタッフがチェックして声をかけられるような、親を注意するのではなく、親に寄り添ってあげられるような声かけを社会教育委員も見えていけたらいいかと思います。

(委員) スポ少が11あるわけですが、少子化などの関係で6～8の団体に統合して大会に出てきます。今は親の用事で子どもを休ませることも増え、予定していたこともできなくなってきた、その辺も考えていかなければならないと思っています。

(委員長) 中学生のクラブ化も困っているようですね。

(委員) 瑞浪市との比較になってしまいますが、地域学校協働活動に重点を置いてしまいますが、家庭教育のことも、三学塾のことも合わせてやっていくと幅が広がっていくなと思いました。放課後子どもたちがどうやって過ごしているか、学校もわか

っていないことが多いです。学童に行っている子は名簿が来るのでわかります。寺子屋の日も把握できますが。社会教育委員会と学校と連携しながらやっていくことで、わかっているようでわかっていなかった放課後の子どもの家での過ごし方がわかってくるのかなと思いますし、それを踏まえた学校での支援の仕方が広まっていくと思いました。

（委員長）子どもの実態は、学校でも調査できそうですので、校長会でも議題の一つにしてもらえるといいと思います。社会教育課も、学校も、家庭も役に立つ、三方よしでいいと思います。

（委員）研究の柱として、家庭教育は思っている所です。年々学童に通う子が増えている現状があり、学童の問題を研究していくことが大事かと思います。本来は違うと思いますが、学童で宿題をやってくることが当たり前と思う親さんがいるのではないかと思います。帰宅後は勉強することもなく、家庭での交流がなくなっているのではないかと感じています。また、学童に行っていない子のことが心配でもありますので、研究していきたいと思います。学童で助かっているのは事実ですので、力になりたいと思います。進捗管理は、このシートによくまとまっていて、経緯や何を議論したらいいかがわかりやすくなると思います。出口として審議内容の社会教育委員会の検証結果を我々が作っていけばいいのか、次のページの具体的な手立てを言うのか、今後教えてほしいと思います。

（委員長）ありがとうございます。それぞれ、さわりを話してもらいましたので、それらを具体的に話していけばいいのかなと思います。よろしくお願いします。以上でよろしかったでしょうか。

（事務局）ありがとうございます。いただいた意見を踏まえまして、次回のご案内をさせていただきます。

7. その他

・恵那市少年の主張大会のご案内

（事務局）6月15日(土)14:00～ 恵那文化センター大ホールで開催します。中学校3年生の思いや考え方を聞いていただける機会となりますので、ぜひお越しください。

・次期総合計画の策定について

（事務局）資料を配布させていただきました。各種計画がありますが、恵那市総合計画が恵那市最上位の計画となります。市の将来像、そのためにどういった施策を展開するか、各課がどう取り組んでいくかを定めております。10年間の計画で、今年度から第3次の総合計画づくりに入っていきます。各課が持っている委員会などで意見を取りまとめてほしいと企画課より依頼がありました。「20年後にどんな恵那市になりたいか」「そのために何をやらなければならないか」この2点のご意見をいただきたいと思います。次回までの宿題とさせていただきたいので、それぞれの立場から、社会教育の分野でご意見ををお願いします。

・フードパントリーについて

（委員）みんなで子育てドロップスという団体です。コロナでひとり親家庭のお仕事

がなくなってしまったこともあり、何かできないかと始めました。子育て中のひとり親家庭であったり、子育て中の生活困窮者を対象に食料配布を月1回していこうということで4年目になります。登録者は170名ほど、毎月90件ほど食料を取りに来ていただいています。スーパーなどとも連携して提供いただいています。立ち上げた時は助成金がありましたが、今は寄付だけです。吉野家さんは毎月130食牛丼を寄付してくださっています。社協からもお米の寄付をいただき、1件あたり2, 3キロずつくらい配布しています。皆さんへのお願いは、お家などで作りすぎた野菜などを配布日の前日くらいまでに寄付いただけたら嬉しいです。

(委員) 提供する人はどうしたらいいですか。

(委員) 電話してもたえたら取りに行きますし、ドロップスに届けてもらっても大丈夫です。お菓子や乾物など、期限切れでも受け取ります。それらは親さん判断でお持ち帰りいただくこともあります。よかったらドロップスに見学にいらしてください。

(事務局) 今回、田口委員、高草委員が携わっている事業についてご紹介いただきました。皆さんの関わられていることでご紹介したいことがありましたら、ぜひ会議の場で紹介いただけたらと思います。

8. 閉会

(副委員長) 途中「育てたように育つ」という言葉を使ってしまいましたが、寺子屋の活動をしていると、最初の頃の子たちにやったプリントを今の子たちに渡しても頭を抱えて解けません。でも、今の子たちはICT操作能力が抜群です。ふるさとカルタも教えると素直に身についていくし、心配な子も出てきます。学校の子たちは総合的に力をつけていかなければならないので大変だと思います。私が心配なのは、いろんな役を受けていたら、行事がかぶってしまってやれなくなってしまいます。このままいくと、秋に米がとれるのかと。社会教育でいうと、3月に柱1のひとつくらいは米粒となって採れるくらいに私は努力しないといけないと思っています。みなさま、1年間力をお貸しください。今日はありがとうございました。

次回日程

日時：令和6年7月24日（水）午後1時30分～

場所：恵那市役所西庁舎3階 災害対策室A・B